



ジオパーク

だより



三陸ジオパーク
Sanriku Geopark

三陸ジオパーク推進協議会

2019年度 三陸ジオパークフォーラムを開催しました!!



京都芸術大学学長の尾池 和夫さん

6月8日（土）、岩泉町民会館で開催されたフォーラムには、三陸ジオパーク関係者のほか、地域の方々約350人が参加しました。

◇京都造形芸術大学(日本ジオパーク委員会前委員長)の尾池学長の基調講演

尾池さんから「日本のジオパーク」と題して、日本列島の成り立ちや地震発生のメカニズムのほか、三陸ジオパークに期待されるものとして、自然災害から復興していく経験を世界に向かって発信してほしいとお話いただきました。

◇杉本コーディネーターのミニ講演



ジオパークを楽しむためには、「地質・地形」,「自然」,「人々の営みや文化」の3つがどのようにつながっているかを五感で感じる事がコツ

◇文化や食などを通じたジオパークの活用～ミニ講演



地域で食べているものにストーリー付けし、食事してもらい、お土産として買ってもらう工夫をしている。
(元栗駒山麓ジオパーク専門員 佐藤さん)

○アンモナイトのレプリカ作成教室には、たくさんの親子が参加しました。



↑ アンモナイトの特徴を聞く参加者
← 自分で作ったレプリカでポーズ!

認定商品制度をつくり、下北地域の一次産品を使った加工食品等売り出している。(下北ジオパーク推進員 石川さん)



○三陸ジオパークを代表する18のジオサイトが360度で見ることができる



VRゴーグルコーナーも、子供からお年寄りまでたくさんの方で賑わいました。

釜石観光ガイド会の研修会 が開催されました!!

釜石観光ガイド会の皆様を対象とした研修会が開催されました。講師の杉本コーディネーターから、ジオパークの理念、三陸沿岸北部と南部の成り立ちと相違点のほか、香港のジオパークの活動事例などを分かり易く説明があり、受講したガイドのみなさんは、真剣な表情で聞き入っていました。



千畳敷の南側。ごつごつとした白い岩肌がつづく

「アス海岸」と実感できる場所でした。

今回は特別に、急斜面を下り、ロープを使って「千畳敷」に下りました。(尾根部分から千畳敷に下りるには、ベテラン経験者の同伴が必要です。)

千畳敷は、海に突き出していることもあり、太平洋が広く見わたせます。また、太平洋の青さと千畳敷の花こう岩の白さの対照的なコントラスト、何とも言えない大自然が創り出した素晴らしい景観が広がっていました。

千畳敷は、下りなくても尾根部分から十分に海岸美を堪能することができます。体力、脚力に自信+がある方は、ぜひ、釜石のジオサイト「千畳敷」を見に行ってください。(K・K)

「千畳敷」に行ってきました!

ジオ現地推進員
レポート①

釜石市の箱崎半島の東端の御箱崎にあるジオサイトの「千畳敷」に行ってきました。大沢遺跡駐車場までは自動車です。そこから約3.2 km、アップダウンが連続する道を徒歩で千畳敷まで移動しました。

歩くこと約1時間、眼下に「千畳敷」が見えます。今、立っている場所は、山でいう尾根部分で、海水面が相対的に上昇してできた「リ



千畳敷の北側。時折、白波が高く上がり、荒々しさも感じる

ぜひ、釜石のジオサイト「千畳敷」を見に行ってください。

<編集後記>

今年は、梅雨らしい梅雨となるのか？梅雨入りして欲しい1か月がたちましたが、西日本では、豪雨がつづき大きな災害となっているところもあるようで心配です。

三陸は、やませの季節となり、雲ひとつない青い空の日が貴重と思える時期になったのかなと思います。

みなさんも、ぜひ、空が青い日は、お気に入りのジオサイトを見つけに外に出かけてみたらいかがでしょうか。(J・J)

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072 宮古市五月町1-20

宮古地区合同庁舎2階

TEL : 0193-64-1230

FAX : 0193-64-1234

E-mail : info@sanriku-geo.com

HP : http://sanriku-geo.com/